



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月25日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 南 健治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長

(氏名) 五十嵐 和彦

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	22,048	△2.3	83	△57.8	116	△57.1	67	780.6
23年3月期第2四半期	22,562	26.4	197	—	272	—	7	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 61百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △178百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.37	—
23年3月期第2四半期	0.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	53,852	17,454	32.4
23年3月期	54,250	17,492	32.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 17,454百万円 23年3月期 17,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では24年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△9.2	200	△73.1	200	△75.1	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	51,926,194 株	23年3月期	51,926,194 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,513,054 株	23年3月期	2,511,297 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	49,414,192 株	23年3月期2Q	49,415,865 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- (1) 平成24年3月期の期末配当につきましては、当該期及び今後の業績を勘案して総合的に決定することとしており、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示することといたします。
- (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 地域ごとの売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の金融不安から引き起こされた減速懸念や円高の進展などにより、不透明な状況が続いています。

当社グループ関連市場においては、液晶パネル分野ではテレビや液晶パネルの供給過剰と価格下落が続いており、大型パネルへの新規設備投資は先送りされています。スマートフォンやタブレットPCなどの液晶タッチパネル分野は、競争の激化や価格下落の懸念はありますが堅調に推移しました。半導体分野は、顧客の設備投資に抑制の動きが強まってきました。

このような景況下、当社グループは受注活動を強化し、半導体や中小型液晶分野の顧客拡大を進めました。また、固定費削減および標準化・リードタイム短縮などのコスト構造改革に取り組み、経営体質の強化や事業構造の改善を進めましたが、液晶大型パネル用設備の低調により厳しい状況が続きました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は22,048百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は83百万円（前年同期比57.8%減）、経常利益は116百万円（前年同期比57.1%減）、四半期純利益は67百万円（前年同期比780.6%増）となりました。

主なセグメントの業績は次のとおりです。

① ファインメカトロニクス部門

液晶パネル前工程分野では、スマートフォン、タブレットPC向け中小型液晶用装置が好調であり、売上は前年同期を上回りました。

半導体前工程分野では、ウェハー洗浄装置で生産性の高い新機種を市場に投入し、顧客の生産ラインに納入しました。また、マスク関連装置の顧客拡大が進みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は13,050百万円（前年同期比26.9%増）、セグメント利益は680百万円（前年同期はセグメント損失437百万円）となりました。

② メカトロニクスシステム部門

液晶モジュール工程分野では、テレビ用大型パネルの設備投資抑制を受け、主力のアウトソーシングが低調であり、タッチパネル貼り合せ装置は好調に推移したものの、引合いには一服感がみられました。半導体組立工程分野では、先端パッケージ分野での顧客拡大が進みました。太陽電池分野では新工法対応の量産装置の引合いが活発化してきました。

これらの結果、当セグメントの売上高は7,265百万円（前年同期比30.5%減）、セグメント損失は569百万円（前年同期はセグメント利益665百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ397百万円減少し53,852百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し39,055百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ462百万円減少し14,797百万円となりました。これは主に、リース資産の減少及び有形固定資産が減価償却等により減少したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ360百万円減少し36,398百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ37百万円減少し17,454百万円となりました。これは主に、配当金の支払により減少したことによります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,159百万円増加し、4,512百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は1,280百万円（前年同期は1,126百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の減少により資金が増加したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は84百万円（前年同期は286百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の売却により資金が増加したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は158百万円（前年同期は333百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済及びファイナンス・リース債務の返済により資金が減少したことによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループ関連市場では、液晶大型パネル市場は引き続き投資抑制が続くと予想されています。タッチパネルや太陽電池分野などの引合いは堅調に推移しておりますが、全体としては引き続き厳しい状況が続いています。このような状況において、当社グループは、新工法・新技術対応の装置を顧客に提供することにより、売上拡大を図ります。さらに固定費削減、コスト構造改革を引き続き推進し一層の体質強化を進めます。

通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月18日に公表しました業績予想の通りです。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,390	4,554
受取手形及び売掛金	26,939	25,825
商品及び製品	2,138	2,290
仕掛品	4,226	4,377
原材料及び貯蔵品	314	171
繰延税金資産	1,071	1,077
未収入金	714	526
その他	254	289
貸倒引当金	△60	△58
流動資産合計	38,990	39,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,822	28,238
減価償却累計額	△16,965	△16,997
建物及び構築物（純額）	11,856	11,241
機械装置及び運搬具	976	1,156
減価償却累計額	△786	△872
機械装置及び運搬具（純額）	190	284
工具、器具及び備品	366	411
減価償却累計額	△316	△320
工具、器具及び備品（純額）	50	90
土地	119	119
リース資産	1,751	1,462
減価償却累計額	△1,075	△965
リース資産（純額）	676	496
建設仮勘定	517	701
有形固定資産合計	13,410	12,934
無形固定資産		
のれん	49	39
特許権	205	243
リース資産	121	88
その他	414	435
無形固定資産合計	790	807
投資その他の資産		
投資有価証券	203	182
長期前払費用	11	10
前払年金費用	319	300
繰延税金資産	180	183
その他	345	381
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,059	1,055
固定資産合計	15,260	14,797
資産合計	54,250	53,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,992	11,303
短期借入金	7,705	9,066
1年内返済予定の長期借入金	3,200	1,500
リース債務	380	274
未払法人税等	201	147
未払費用	2,626	2,800
前受金	435	436
役員賞与引当金	34	21
受注損失引当金	119	207
資産除去債務	11	11
その他	393	491
流動負債合計	27,100	26,260
固定負債		
長期借入金	500	1,000
リース債務	439	333
長期未払金	21	21
退職給付引当金	5,211	5,300
役員退職慰労引当金	23	6
修繕引当金	406	420
資産除去債務	31	32
長期預り保証金	3,022	3,022
固定負債合計	9,657	10,138
負債合計	36,758	36,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,995	9,995
利益剰余金	2,426	2,395
自己株式	△1,719	△1,719
株主資本合計	17,463	17,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	9
為替換算調整勘定	△1	12
その他の包括利益累計額合計	28	22
純資産合計	17,492	17,454
負債純資産合計	54,250	53,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	22,562	22,048
売上原価	17,510	17,286
売上総利益	5,052	4,762
販売費及び一般管理費	4,854	4,679
営業利益	197	83
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	2	2
受取賃貸料	59	50
負ののれん償却額	19	—
為替差益	—	8
固定資産売却益	—	72
貸倒引当金戻入額	133	17
その他	41	23
営業外収益合計	259	181
営業外費用		
支払利息	90	97
為替差損	24	—
その他	69	50
営業外費用合計	184	147
経常利益	272	116
特別利益		
負ののれん発生益	34	—
特別利益合計	34	—
特別損失		
事業構造改善費用	219	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	46	—
特別損失合計	265	—
税金等調整前四半期純利益	42	116
法人税、住民税及び事業税	100	57
法人税等調整額	57	△8
法人税等合計	157	49
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△115	67
少数株主損失(△)	△123	—
四半期純利益	7	67

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△115	67
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△20
為替換算調整勘定	△38	14
その他の包括利益合計	△63	△6
四半期包括利益	△178	61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△136	61
少数株主に係る四半期包括利益	△41	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	42	116
減価償却費	890	690
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	46	—
負ののれん償却額	△19	—
のれん償却額	—	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△189	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	259	108
受取利息及び受取配当金	△5	△9
支払利息	90	97
為替差損益 (△は益)	23	56
前受金の増減額 (△は減少)	△92	△7
売上債権の増減額 (△は増加)	426	1,126
たな卸資産の増減額 (△は増加)	246	△519
仕入債務の増減額 (△は減少)	252	△372
その他	△690	142
小計	1,280	1,438
利息及び配当金の受取額	5	9
利息の支払額	△91	△97
法人税等の支払額	△68	△69
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,126	1,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8	△2
定期預金の払戻による収入	19	—
有形固定資産の取得による支出	△106	△90
有形固定資産の売却による収入	21	342
その他	△212	△164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△286	84
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△120	1,351
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△326	△211
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	—	△2,200
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	—	△98
少数株主からの払込みによる収入	113	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333	△158
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	486	1,159
現金及び現金同等物の期首残高	6,117	3,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,603	4,512

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	合計
売上高					
外部顧客への売上高	10,286	10,452	913	909	22,562
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	107	—	—	110
計	10,289	10,560	913	909	22,673
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△437	665	△102	404	529

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	529
全社費用(注)	△257
その他	0
四半期連結損益計算書の経常利益	272

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	合計
売上高					
外部顧客への売上高	13,050	7,265	867	864	22,048
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	88	0	—	102
計	13,063	7,354	868	864	22,151
セグメント利益又はセグメント損失（△）	680	△569	△44	343	409

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	409
全社費用（注）	△234
その他	△58
四半期連結損益計算書の経常利益	116

（注）全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 地域ごとの売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
国内		12,450 (55%)	12,496 (57%)
海外	北東アジア	9,147 (41%)	8,477 (38%)
	その他	964 (4%)	1,073 (5%)
	計	10,112 (45%)	9,551 (43%)
総 計		22,562	22,048

(注) () 内は構成比率